

# 西三河地区「拡大家庭教育推進協議会」

## I 概要

- 1 日時 令和5年9月29日（金）午後2時00分～午後4時30分
- 2 会場 西三河総合庁舎10F大会議室
- 3 参加者
  - ・協議会委員 21名
  - ・協議会以外の参加者 50名（子育てネットワーカー7名、家庭教育・子育て支援者9名、行政関係者8名、学校関係者4名、PTA等保護者22名） 合計71名

## II 日程・内容

- 1 開会行事 午後2時～午後2時10分  
優良家庭教育推進組織等顕彰



【顕彰式】

### 六ツ美南部学区家庭教育推進協議会（岡崎市）

現役世代と定年を迎えた世代とが手を携え、持続可能なまちづくりへの模索を進めるなか、学校・家庭・地域が連携し、子供を中心に据えた学区の結びつきを目指している。

### NPO法人高浜南部まちづくり協議会（高浜市）

地域安全活動、介護予防事業、子供の健全育成事業、チャレンジドに対して自立支援事業を行うことで住民相互の連帯感と自治意識の向上を図り、安らぎとふれあいのある心豊かな地域共生によるまちづくりの推進に寄与している。

- 2 実践活動発表 午後2時10分～午後2時40分

### 碧南市おやじの会連絡会（碧南市）

親子の絆を大切にしたい親子・家庭参加型の事業を計画し、父親が自信をもって子育てに参画できる社会にしていきたいと考え、①木工パズルづくり研修会、②ピザ窯づくり研修会、③「みんなあつまれ だるまこまつり」の開催などを紹介していただいた。

### 黒笹小学校区家庭教育推進協議会

この組織は、PTA役員を中心に、民生児童委員、人権擁護委員、主任児童委員、児童厚生員、青少年補導員、本校教職員などで構成され、家庭・地域・学校での連携を深めている。その中で、学校支援ボランティアとの協働や「黒小にこにこウィーク」、家庭・地域の力でつくり上げる学校行事などを紹介していただいた。



【実践活動発表】

### 3 テーマ別協議会 午後3時～午後4時25分

<p>テーマ① ～人材確保・人材活用の問題を中心に～ 「家庭教育支援をしていただく方をどのように確保し、どのように活用していくか。」</p> <p>A班：常勤で働く人が増えたこともあり、人材が確保しづらい。幅広く募集をかけることが大切。また、支援者が短い時間でも活躍できるような工夫が必要になる。</p> <p>B班：人材を確保するには、目的、やること、期間を絞って募集することが大切である。また、支援者が高齢化しているため、世代交代ができるようなシステムを工夫することが必要。</p> <p>C班：人材確保をするためには、資金源が必要。そのために、市の力を借りる必要がある。保護者だけが支援者だと、定期的に人材を確保できない。高齢者、知り合い等、幅広くつながりから人材確保が必要。</p>
<p>テーマ② ～各団体の取組の課題を中心に～ 「家庭教育支援を行き届かせるための工夫について」</p> <p>D班：活動詳細が分かる情報発信が課題。「子ども」「親」双方に、情報発信の拡充が大切だと考える。</p> <p>E班：父親にも子育てに参加してほしい。父親は、遊びをとおして一緒に係ることが大切である。また、子育てに悩んでいるが、外に出られない人への支援が大切である。その方たちが、興味をもてるような講座等を開く必要がある。</p> <p>F班：子育て支援を必要としている方が孤立しないよう、見守る必要がある。また、人とのつながりの中で、心地よい空間、子どもの成長の場を見つけてもらえるようにする。</p>
<p>テーマ③ ～PTA活動・CS（コミュニティ・スクール）の課題を中心に～ 「家庭・地域・学校がどのように連携し支援活動をしていくとよいか。」</p> <p>G班：学校、PTA、地域が一体となって支援活動をするのが大切だが、地域とかなかなか関われない。</p> <p>H班：CSについて、あまり周知されていない。もっと情報を提供する必要がある。中学生の支援活動がとても助かる。</p> <p>I班：コロナ期に、学校と地域との連携がなくなった。再度連携をするために、リーダーとなって活動してくれる人材が必要。</p> <p>J班：公民館と中学生がつながったのは、効果があった。学校ボランティアをもっと募集していきたい。</p> <p>K班：PTA組織の簡素化が今後必要になる。</p> <p>L班：PTA加入率が低くなってきている。</p>

### 4 閉会行事 午後4時25分～午後4時30分

#### Ⅲ 課題や今後の取組について

昨年度と同様に、拡大家推協に参加を呼びかける際には、予めテーマを示し、興味のあるテーマのグループ協議に参加をしていただいた。大きなテーマであったが、どのグループも活発に意見交換ができていた。

今後の課題としては、PTAの方が多いいこともあったが、PTA加入率が悪くなっていることや、PTA役員になりたい方が少ないことが課題として挙げられた。課題解決のため、今後も議論を続けていくことが大切だと感じた。